

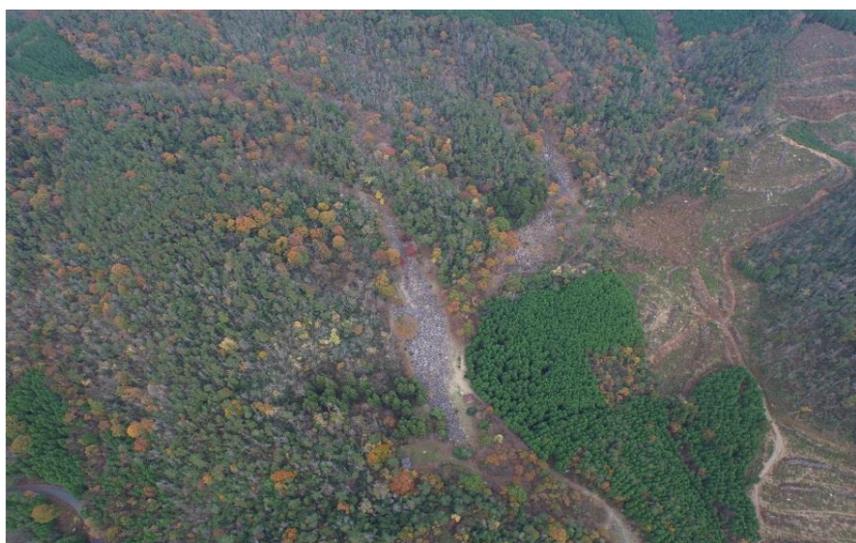
が ん か い

岩海ってなんだろう？

三原の市街地から約30km北にある、久井町吉田の宇根山に「久井岩海」があります。約1m前後の巨大な岩がまるで川や海のように積み重なっています。岩がごろごろとたくさんあるので、地元では「ごろろ」ともよばれています。この久井岩海は、大変長い年月をかけてつくられたもので、そこには驚くような景色が広がっています。



位置図



岩海上空から 出典：平成30(2018)年発行『久井岩海保存活用計画』



岩海礫 (いろいろな形があり、丸みをおびたり、ひび割れたりしています。)



「国指定天然記念物」

「日本の地質百選」

昭和39(1964)年6月27日に「久井・矢野の岩海」として国指定天然記念物に、また平成19(2007)年に日本の地質百選に選ばれています。



「岩海」は研究されています！

西ドイツの地方には、久井岩海のような景観がみられました。

一番古くは1921年にドイツで作成された文献に岩海の記述がなされ、Felsenmeer (岩の海)と世界から一早く注目されていました。昭和10(1935)年、日本でも岩海が国の天然記念物として指定を受けたのは、山口県美祢市の万倉の大岩郷と宇部市の吉部の大岩郷です。

その後、地元で「ごろろ」と呼ばれていた久井岩海と、10kmほど離れた府中市上下町矢野の溪谷にある「コウモリ岩」と呼ばれていた矢野岩海に調査が入り、天然記念物の指定となりました。久井岩海は、どんな道をたどり現在の姿になったのでしょうか。



石碑